

時代の変化に対応した栄典の授与に関する有識者懇談会（第4回）
議事要旨

■開催日時：平成28年5月26日(月)17:15～17:50

■開催場所：官邸2階小ホール

■出席有識者：

山下座長、奥山有識者、滝澤有識者、名和田有識者、萩原有識者、牧原有識者

■政府側出席者：

菅 内閣官房長官、酒井 内閣府大臣政務官、松山 内閣府事務次官、河内 内閣府大臣官房長、幸田 内閣府賞勲局長

■議事次第：

1 時代の変化に対応した栄典授与に関する提言(案)について

■議事概要：

1 時代の変化に対応した栄典授与に関する提言(案)について

資料1～3に基づき賞勲局長より説明があり、有識者で議論。

その後、提言(案)が決定され、内閣官房長官に提出された。

議論における主な発言は以下のとおり。

- 地域で地道に頑張っている人や、中小企業や女性についても積極的な評価の道が開ける、有意義な提言案になったのではないかと。
- 自治体や地域の活動に目を向けることができたほか、賞勲局が直接自治体と相談して進める「地域総合功労」を盛り込むことができたのは良かった。
- 定性的な評価を行うことは、難しいが、敢えてチャレンジすることは大事。仕組み作りは大変と思うが、政府においては頑張っていただきたい。
- 中小企業、女性、外国人等にもこれまで以上に細やかに目配りした運用を期待する。また、長期間・ストックでの業績のみでなく、短期間・フローでの業績も積極的に評価をしていく視点が盛り込まれたと思う。
- 選考の仕組みについても検討することができ、各府省が積極的に選考するような方向に動き出しており、また、一般推薦にも重点を置いていくことを打ち出すことができたのは、非常に良かった。

以 上

注：本議事要旨は速報的に作成したものであり、
表現の正確性向上等のため、今後、修正される可能性があります。